

## 人権に関する市民意識調査の結果について

### 1 調査目的

新潟市におけるすべての市民の人権が尊重される社会の実現をめざして施策を推進するにあたり、市民の人権意識を把握するとともに、次期新潟市人権教育・啓発推進計画(2020年度～2024年度)の改訂のための参考資料とする。

### 2 調査方法

- (1) 調査地域 新潟市全域  
 (2) 調査対象 新潟市住民基本台帳に登録されている満18歳以上の市民  
 (3) 標本数 3,000人(18歳以上人口比0.44%)  
 (4) 抽出方法 無作為抽出  
 (5) 調査方法 郵送法(調査期間中にハガキによる回答依頼1回)  
 (6) 調査時期 平成30年10月12日(金)～11月2日(金)

### 3 回収結果

有効回答数(%)	1,478 (49.3 %)
標本数(%)	3,000 (100.0 %)

### 4 調査結果概要

※「傾向に大きな変化があった項目」とは、回答選択項目で前回比5%以上の増減が複数(二者択一の場合は1つでも)あった場合に「●」

問	設 問	報告書 ページ	結 果 の 経 年 比 較	
			※傾向 に大き な変化 があっ た項目	分 析 概 要
1	人権に対する関心	P3		「関心がある」が1.5%減少した
2	人権という言葉のイメージ	P7	●	前回比で最も増加したのは「憲法」で5%増加した一方、「法律」では11.5%減少し、減少割合が大きい。 第1位から第3位まで「差別」、「憲法」、「法律」と変動はない。
3	日本の社会における人権意識	P13	●	「よく守られている」、「だいたい守られている」で9.3%減少、一方「あまり守られていない」「守られていない」はほぼ変わらず。 「わからない」が19.0%で倍増した。

問	設 問	報告書 ページ	結 果 の 経 年 比 較	
			※傾向 に大きな 変化があっ た項目	分 析 概 要
4-1	人権侵害を受けた経験	P17		「ある」が3.9%増加した。20歳代・40歳代が4割を超えている。
4-2	「どのような」人権侵害を受けたのか	P20	●	<内容>「あらぬ噂, 悪口, かげ口」, 「仲間はずれ, いやがらせ」, 「名誉・信用き損, 侮辱」, 「プライバシー侵害」, 「虐待」で大幅に割合が高くなった。
4-3	「誰から」人権侵害を受けたのか	P22	●	<相手>前回10項目中6項目で3位以内の「学校」は今回3位以内が1項目のみ。ほぼすべての項目で3位以内となった企業では3項目で増加傾向。今回新規設定した「不明」が10項目中8項目で3位以内。
5-1	(人権を侵害された場合) 対応するか否か	P25	●	(※前回までの調査とは回答選択項目を区分したため、経年データを再集計した。) 「対応する」は8.2%減少したが、全世代で70%超えている。
5-2	対応する方法	P29		(※前回までの調査とは回答選択項目を区分したため、経年データを再集計した。) 「相談する」は4.8%減少。すべての年代で「相手に抗議する」より「相談する」と答えた割合が高い。
5-3	相談する相手	P33		(※前回までの調査とは回答方式が異なるため経年分析省略。) 「身近な人」は8割近くと突出している。
6	関心のある人権問題	P39	●	「障がい者」, 「子ども」, 「女性」, 「LGBT等性的少数者(同性愛や性同一障がいなど)」の4項目で割合の増加が目立つ。
7	各人権問題について(現在, 過去含め)悩んだり, 悩んでいる人を知っているか。	P46	●	(※前回からの設問で, 前回の設問文や回答選択項目を一部変更したため, 参考扱い) 前回と比べて, 「インターネット(LINE, TwitterなどのSNSを含む)をめぐる人権問題」で微増以外は, すべての項目で低下している。
8	第三者が本人の了承を得ないで身元調査を行うことについて	P48	新設	—
9	人権問題に関する知識や情報の取得源	P52		1位の「テレビ・ラジオ」が半数を超え, 2位の「新聞」と2項目の割合が突出。今回から回答選択項目に新設した「インターネット(LINE, TwitterなどのSNSを含む)」が4位に入る。
10	人権問題に関する講演会等への参加	P58		“参加している”は, 前回は3.2%減少し減少傾向。「参加したいと思わない」は, 前回は4.1%増加し増加傾向。

問	設 問	報告書 ページ	結 果 の 経 年 比 較	
			※傾向 に大きな 変化があっ た項目	分 析 概 要
11	新潟市民憲章の実現のために必要と思う取り組み	P62	●	「学校や地域における人権・同和教育の充実」及び「人権意識を高めるための市民啓発の充実」が6～5%減少したのに対し、「企業における人権意識の向上」が6%ほど増加した。「わからない」でも増加傾向にある。
12	平成28年施行の人権関連三法の認知度	P68	新設	—
13	女性に対する人権侵害だと思ふこと	P78	●	前回は増加項目は、「セクハラや性暴力の被害者になること」、「結婚や妊娠、出産、不妊などについて干渉されること」及び「わいせつ情報がはんらんしていること」の3項目。一方、低下項目は、「親しい関係にある相手からの暴力」である。
14	女性の人権を守るために必要なこと	P84		前回は「男女平等に関する学校教育や社会教育を充実させる」以外は、経年変化はあまり見られない。
15	子どもに対する人権侵害だと思ふこと	P90	●	前回は増加した主な項目は、「親・同居者のしつけと称する体罰」で11.6%増加。
16	子どもの人権を守るために必要なこと	P96	●	前回は5%以上の増減が各項目に渡っており、4項目で増加、3項目で減少となっている。
17	高齢者に対する人権侵害だと思ふこと	P102	●	前回は2項目で5%以上の減少だったものの、今回新規の回答選択項目「高齢者の財産を取り上げたりして自由に使用させず、困窮させること」が11%回答あった。
18	高齢者の人権を守るために必要なこと	P108		「地域でのケア体制を充実させる」の減少以外は、大きな変化は見られない。
19	障がい者に対する人権侵害だと思ふこと	P114		前回は大きな変化はみられない。
20	障がい者の人権を守るために必要なこと	P120		前回は、「障がい者に対する人権侵害への救済策を充実させる」の5%超増加以外は、目立った変化はない。
21	日本社会における同和問題の認知	P126		前回は、「知っている」が2.9%減少。
22	新潟県内における同和問題の認知	P130		前回はほとんど変化なし。
23	同和問題を知った時期	P134		前回はほとんど変化なし。
24	同和問題を知ったきっかけ	P138		前回は、「学校の授業で教わった」が5%以上増加したのに対し、「家族(祖父母、父母、兄弟など)から聞いた」が5%近く減少した。

問	設 問	報告書 ページ	結 果 の 経 年 比 較	
			※傾向 に大きな 変化が あった 項目	分 析 概 要
25	同和問題の現状認識	P142		前回比でほとんど変化なし。
26	知人が同和地区出身者と 知った場合の対応	P146		前回比でほとんど変化なしだが、「これまでと おなじように付き合う」は減少傾向。
27	同和問題で人権上問題だ と思うこと	P150	●	前回比で5%以上の増減項目として、「地域社 会で不利な扱いをされる」及び「差別的な発 言や行動をされる」が増加しており、一方、 「結婚問題で周囲から反対される」が減少して いる。
28	同和問題を解決するために 必要なこと	P156		前回比でほとんど変化ないが、「人権相談・生 活相談の充実」、「人権救済策の充実」及び 「わからない」が増加傾向、「市民一人ひとりの 正しい理解」、「そっとしておく」及び「自由な 意見交換のできる環境をつくる」は減少傾向。
29	外国籍市民等に対する人 権侵害だと思うこと	P162		前回比で、「近隣や地域の人とのふれあい や、理解を深める機会が少ないこと」で7.8% 減少した以外は、ほとんど変化なし。
30	外国籍市民等の人権を守 るために必要なこと	P168		前回比で、「外国籍市民等と日本人の相互理 解と交流を進める」が7.2%減少した以外は、 ほとんど変化ないが、「わからない」が20%を 超え増加傾向。
31	HIV感染者等に対する人 権侵害だと思うこと	P174		前回比でほとんど変化ないが、2項目で増加 に転じたものと、「わからない」が第1位を維持 したまま増加傾向で50%に迫る。
32	HIV感染者等の人権を守 るために必要なこと	P180		「HIV/エイズに関する正しい知識を学校教育 の中でも教育する」が6%減少する一方、「わ からない」が第3位を維持し4%増加。
33	新潟水俣病被害者等に関 して人権侵害だと思うこと	P186	●	全項目が減少傾向のなか、特に「水俣病患者 が十分に救済されていないこと」が11.1%減 少した。一方、「わからない」が増加に転じ、 前々回を超え、前回より8.9%増加した。
34	新潟水俣病被害者等の 人権を守るために必要なこと	P192	●	「水俣病患者等の生活費や治療費を援助す る」が7.5%減少した一方、「わからない」が 6.7%増加
35	性的少数者等言葉に関し ての認知	P198	新設	—
36	LGBT等性的少数者と思わ れる人の周囲での存在認 識	P202	新設	—

問	設 問	報告書 ページ	結 果 の 経 年 比 較	
			※傾向 に大き な変化 があつ た項目	分 析 概 要
37	LGBT等性的少数者に対する人権侵害だと思うこと			
	(1) 異性愛以外(同性愛, 両性愛等)の人に関する人権問題	P206	新設	—
	(2) からだの性とこころの性が一致しない人に関する人権問題	P212	新設	—
38	LGBT等性的少数者の人権を守るために必要なこと	P218	新設	—
39	インターネット利用に関して人権上問題だと思うこと	P224		前回比で、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」で8.9%減少したが、それ以外の項目は大きな変化はあまりみられない。
40	インターネット上の人権侵害を防ぐために必要なこと	P230		前回比で、あまりおおきな変化は見られない。

<自由意見について>

報告書P236～P240

項目	報告書 ページ	H30 記載 件数 A	H25 記載 件数 B	比較 C-D	主な記入内訳の件数比較			
					主な記入内容(要旨)	H30 件数 C	H25 件数 D	比較 C-D
人権問題全般について	236 237	94	76	18				
					啓発や教育による(社会全体の・行政主導の・医療関係者の・家庭の・行政の・親の)意識改革が必要	38	21	17
					相互理解が大切	9	0	9
					弱者救済に尽力してほしい(弱者に対して平等な扱いを受けられる社会を望む・弱者に対する就労環境の整備を求める・弱い立場にある人の支援が必要)	6	1	5
					過剰反応だと感じる(世間が騒ぎ過ぎていると思う・過剰な人権保護をやめるべき)	5	4	1
					あまり関心が無い	4	0	4
性別による人権について	237	21	5	16				
					就労条件格差の是正を望む(結婚・出産後も女性が働ける環境整備を望む)	7	3	4
					男性の人権についても考えるべき	6	0	6
子どもの人権について	237	32	4	28				
					子どもを守ってほしい	14	0	14
					教職員の意識改革が必要	4	1	3
高齢者の人権について	237	4	3	1				
障がい者の人権について	237 238	17	8	9				
					障がい者から人権侵害を受けている	3	0	3
					障がいの種類・程度等による格差是正を求める(就労機会や労働条件の格差を是正してほしい)	1	5	▲ 4

項目	報告書 ページ	H30 記載 件数 A	H25 記載 件数 B	比較 C-D	主な記入内訳の件数比較			
					主な記入内容(要旨)	H30 件数 C	H25 件数 D	比較 C-D
同和問題について	238	11	2	9				
					現在も解決していない事に驚いた	5	0	5
					社会全体の啓発活動・教育が必要	3	1	2
外国籍市民等の人権について	238	7	1	6				
					行政・企業等に,日本人と平等な扱いを受ける権利を望む	2	0	2
LGBT等性的少数者(同性愛者・性同一障がい者)の人権について	238	2	5	▲ 3				
					周囲の理解が必要	1	3	▲ 2
インターネット上の人権問題について	238	11	6	5				
					法的な対処も含めて至急,対応策を講じる必要がある	2	3	▲ 1
公権力による人権侵害について	239	10	6	4				
マスコミによる人権侵害について	239	10	4	6				
犯罪被害者の人権について	239	2	2	0				
服役中や刑期を終えた人の人権について	239	5	2	3				
拉致問題について	239	17	11	6				
					早期解決を望む	15	10	5
地域等に関する人権侵害について	239	5	0	5				
					新潟の人はグループ以外の他者を受け入れない傾向があると感じる	3	0	3
ホームレス状態の人の人権について	—	0	2	▲ 2				
労働問題に関わる人権侵害について	—	0	7	▲ 7				
福島に対する差別等について	—	0	11	▲ 11				
人権侵害を受けた経験について	—	0	5	▲ 5				

項 目	報告書 ページ	H30 記載 件数 A	H25 記載 件数 B	比較 C-D	主な記入内訳の件数比較			
					主な記入内容(要旨)	H30 件数 C	H25 件数 D	比較 C-D
アンケート調査について	240	32	15	17				
					人権問題について、知る・考える きっかけとなった(「人権」に関心を 持つ機会になった)	8	4	4
					大変だった, 難しかった	5	0	5
					設問項目に不満がある(設問の内 容に疑問を感じる)	2	3	▲ 1
					アンケートは無駄	0	3	▲ 3
行政機関等への意見・要望	240	38	29	9				
その他	240	4	8	▲ 4				
計	—	322	212	110				